

臨時号

発行●グリーンコープ生協ふくおか 理事会
編集●広報委員会
福岡市博多区博多駅前1-5-1博多大博通ビルディング3F
TEL●092-482-7770 (代)
ホームページ●<http://www.greencoop.or.jp/>

グリーン・ウェーブ

GREEN WAVE

グリーンコープのうねりを地域へ

6/8

臨時総代会

6/14

第二十三期
通常総代会報告

はじめに

今年度は、通常総代会のおよそ一週間前に、グリーンコープがカーボンニュートラルに取り組み、その財源について審議する臨時総代会を開催することになりました。今回のGREEN WAVE総代会臨時号は、6月8日開催の「臨時総代会」と、6月14日開催の「第二十三期通常総代会」の議案と採決の結果、22年度決算と23年度予算について掲載しています。

臨時総代会当日に出された質疑応答やご意見については、後日「GREEN WAVE臨時号 臨時総代会報告」として発行いたします。通常総代会報告については、GREEN WAVE 9月号紙面にて掲載予定です。



臨時総代会 開催前の会場

第23期 臨時総代会

「みどりの地球を守る覚悟をして
少しずつでも前に進もう」



大坪地域理事長

今日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

グリーンコープが掲げている「みどりの地球をみどりのままで」というテーマは私たち大人が真剣に向き合うものと強く思っております。

規模が大きくなり頻度が増した自然災害は地球温暖化と関連していると考えられ、これを今以上に進めたくない。そのためにできることとして選択したのがカーボンニュートラルだと思っています。今後は他にも手だてが見つかるのかもしれない。その時は立ち止まり再検討できると思います。まずはこの問題を取りあげ、私たちに今何ができるかをみんなで考え、実行すること、それ自体に意義があると思います。

グリーンコープから発信することで大量生産、大量消費、地球上のあらゆる資源をむさぼるようなこれまでの生活の仕方を変えていくための世の中へのアピールになるだろうと思うのです。私たちが大切にしている食べもの、その生産の場や生産者が置かれている厳しい状況、そうしたことに理解が不足していないかなど。大根が30円も値上がりして困るわね、など消費者の不満をマスコミが取り上げるたびに胸が痛みます。野菜にももちろん他の製品にも作り手がいて適正価格があり、消費者がいて双方の生活が成立していくと良いはずなのに、いびつな利益配分がまかりとおつていそうだなと思います。

私の立場では、2021年度も終わりの頃にカーボンニュートラルに向かう為の見積書が示されました。温暖化を留めたい。そのためにCO₂を削減、

ゼロにしたい。その肝である電気自動車の導入などを、いずれ事業では賄えなくなる部分を組合員の理解を得ながら協力いただく。具体的には商品代金に1%を上乗せするという提案だった訳ですが、初発の時点では賛同者がどのくらいいるものか、世情として厳しさがまん延していたので丁寧に進めなければと身構えると同時に心配もありました。それでもこの提案でいくとなり、これはもう産地直結の仕組みのようにつくってもらっている、その人たちの支援を伴う持続可能な関係性、そういうことをもっと多くの人に知ってもらって賛同してもらおう良いチャンスでもあるだろう。多めにお金を払ってでも、みどりの地球を守る覚悟をして少しずつでも前に進もうと自分自身は心を決めたものでした。

その決意の夏以降は今日この臨時総代会までの流れとともに私自身の向き合い方にも変化がありました。今、ここでお伝えしたいのは、グリーンコープの組合員はまわりの理事たちも含め、みんな本当によく調べ、学習し、考え、意見し、それを共有し、その時その時の最善に向かっていく、この組合員主権を貫く様子は、他に類を見ないだろうということです。

みどりの地球のためにグリーンコープから発信する様々な内容（コンテンツ）が日本中に、また海を越えて多くの賛同者を得、地球がみどりのまま存続することを心から願います。皆さま、今日も有意義な検討、意見交換がなされますようご審議の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

これをもって、開会のあいさつとさせていただきます。

（福岡地域理事長 大坪 亜野子）

第一号議案

みどりの地球をみどりの
ままで子どもたちに手渡
せるようにグリーンコー
プはカーボンニュートラ
ルに取り組みます。
賛同する人が財源を出し
合い、この運動に参加す
る人を増やしていきます。

1. 今、私たちの生活に大きな影響を与えている異常気象、気候変動は、地球上の全ての生物にとって深刻な問題であり、近年、一層深刻な状況を引き起こしています。私たち・グリーンコープの組合員もそのことを心配し、気候危機の原因と言われる地球温暖化を何とかしてとめたいと、2022年9月14日の臨時総代会で、「2027カーボンニュートラル」の議案提案をおこないました。

2. 「カーボンニュートラル」の当初の原案の主旨は、次のとおりです。

①地球温暖化を防ぐことに取り組み。

②まず、グリーンコープが直接排出している二酸化炭素をゼロにすることから取り組む。

③グリーンコープでんきとEVトラックへの切り換え、ドライアイスの使用を減らし二酸化炭素の排出を減らす。

④さらに、排出を削減できない分は植林などで二酸化炭素を吸収していく。

⑤グリーンコープがそのように実践することによって、社会を「地球温暖化を防ぐ社会」に変えていく。

⑥そのための財源を組合員自らが拠出して、準備する。

3. この提案をおこなった臨時総代会では「組合員への周知ができていない」「もっと組合員同士で話しがしたい」「理事会提案から総代会までの時間が短く急ぎすぎて

いる」といった意見と共に、緊急動議の発議があり、採決はおこなわれませんでした。

4. 臨時総代会でのご意見を真摯に受け止め、秋の組合員のつどいは組合員に伝え、組合員の声を聞き、そして組合員同士が話し合いました。また、もっと多くの組合員に伝えたい、声を聞きたいと考え、アンケートに取り組むことを確認しました。理事会からアンケート内容の提案をするのではなく、まずは支部理事会や地域委員会で設問内容及び実施時期などの意見交換をおこない、それを持ち寄り理事会で一つにまとめていく検討をし、アンケートの作成をおこないました。

それとは別に、筑豊支部は支部独自のアンケートにいち早く取り組み、地域の声の聞き取りをおこなっています。

5. このように取り組んでいく中、他単協の臨時総代会でこの件が否決されたことを受け、共同体理事会で「グリーンコープ共同体の検討と決定をもって『2027カーボンニュートラル』を進め、EVトラックを導入することは間違いであった」とする総括と、「『EVトラックの導入』を中止し、『2027カーボンニュートラル』『トラック・車輛をEVに切り替える』『必要な財政の一部を、組合員価格を1%上げて準備する』ことに関する検討を出直しの再出発できるようにします。」とする今後の方針が、共同体専務理事から自らの進退伺いと共に提出され、この総括と方針が確認されました。

6. ふくおかでは、2月6日週にアンケートの配布をおこない、多くの組合員に答えていただけるように、店舗での声かけ、注文書と一緒に回収の呼びかけをおこない、webでも回答できるように準備しました。参加呼びかけのチラシの作成をした支部もありました。

また同時期に開催されていた地域組合員総会でもアンケートの協力を呼びかけました。5月22日週に全組合員へ結果報告をおこなっています。



7. アンケートの結果としては、「グリーンコープがカーボンニュートラルに取り組むこと」については80%の方が賛成、2%が反対、18%がわからないという回答でした。また、「車両をリース契約が切れるタイミングで電気自動車に替えること」については68%の方が賛成、4%が反対、28%がわからないという回答でした。そして「カーボンニュートラルを達成するために、全ての商品に商品価格の1%を上乗せすることで、CO₂を最も削減できるとされている電気自動車に配送車を全車切り替えることが実現できると試算されています。その1%が含まれた商品を購入することについてどう思いますか」という問いに対しては、53%の方が賛成、13%の方が反対、34%の方がわからないという回答でした。

8. これまでいただいた組合員からの声やアンケートの結果及びご意見を受けて、3月20日、臨時理事会を開催し「カーボンニュートラル」の原案（「組合価格1%上乗

せ」）を修正することを提案し、討議しました。そして、検討の結果、「共同体理事会に『1%しか選択肢がないことを変えてほしい』『賛同した人が参加できる仕組みとして基金やカンパ、出資金など考えられるようにしてほしい』と意見を届ける」ことを確認しました。

9. 共同体理事会では、ふくおかからのこの要望を受け修正案が提案されました。それをもとに各単協と共同体理事会を往復しながら全単協が合意できる案を検討している途中です。現時点での提案は次（10）の通りです。なお、ふくおか理事会では、この修正案を了承しています。

10. 地球温暖化がこれ以上進まないようにしたい、気候変動をなくしていきたい、地球の未来を守りたいという思いは多くの人の中间にあると思います。「地球温暖化をとめ、地球環境を守っていく」運動を進めていくことを、組合員の願いとして具体的に取り組んでいきたいと考えています。そのため、共同体理事会から各単協の理事会に対して、これまで提案した原案（「商品代金を1%値上げする」）を、「①同意してくださった組合員から商品代金の1%を拠出していただく・同意されない組合員からは拠出いただかない、②同時に、理事会を先頭に、みんな、今後、財源の集め方は、カンパの受け入れなど多様な方法で拠出できる仕組みを検討していくことも付記されています。



11. 共同体の提案を受け、ふくおか理事会として、カーボンニュートラルの財源の集め方として以下の修正案を提案します。

①同意してくださった組合員から商品代金の1%を拠出していただく。
同意されない組合員からは拠出いただかない。
②同時に、理事会を先頭に、みんな、今後、より多くの組合員の同意を得られるように呼び掛けていく。

みどりの地球をみどりのままで子どもたちに手渡せるように、グリーンコープはカーボンニュートラルに取り組みたいと思っています。そこで、そのための財源を賛同する人が出し合い、この運動に参加する人を増やしていきたいと考えています。

12. このカーボンニュートラルの取り組みは、グリーンコープ生協の全単協で検討しています。2023年6月の総代会では決定しない単協もありますが、この取り組みは、全単協合意のうえでオールグリーンコープとして取り組んでいきます。グリーンコープ生協ふくおかしとしては、本（6月8）日の臨時総代会段階における提案として、本案（上記11）で決議していただきたいと思っています。今後、全単協が合意を目指す案がまとまった際に、その内容で、改めて臨時総代会で提案して検討いただきます。

13. グリーンコープの前身生協の誕生から50余年、グリーンコープは「自然と人との共生」「みどりの地球をみどりのままで未来に、子どもたちに」という理念・願いの実現に向けて、これまでも環境を守る運動に取り組んできました。具体的には、脱原発運動、水環境を守る運動、リユースびん、環境ホルモン問題、トレイトロトレイ、たまごのモウルドパッカー化（脱プ

ラスチック）、産直牛乳のびん装化（脱紙パック）、国産穀物（お米）を給餌したたまごの供給、フアイバーリサイクル運動、フードマイレージ（ポコ）、袋t₀袋、カタログ回収などがあります。カーボンニュートラルに向かうことも、このような運動の1つだと考えます。この運動によって、グリーンコープが願っていること、その願いの実現に向けて取り組んでいることを伝え、人々の共感を得て、仲間を増やしていくことに取り組みます。また、この運動に参加する組合員を増やしていく取り組みは、組合員の願いである「地球温暖化を防ぐ」「グリーンコープが直接排出している二酸化炭素をゼロにし、社会を変えていく」ことを推進することになると考えます。

14. 理事会からの提案以外にも、二酸化炭素削減で取り組んだ方がよいと思うものとして、たくさんのご意見をいただいています。また、地球や環境を守る方法としても他のご意見があると思います。今後、皆さんと一緒に考えていきます。これから出会う多くの人に、私たち一人ひとりができることを、一人じゃなく、一緒にやることで、助け合って願いを実現していくことができることを伝えていきます。そして、仲間が増えることにより、さらに願いを実現することになり、「地球温暖化」と「気候変動」の問題についても、それをとめ、改善することができるようにしていきます。



オンライン&会場学習会

2023年5月29日
グリーンコープ生協ふくおか

みどりの地球をみどりのままで
～原発じゃない、これからのエネルギー～

私たちの生活にエネルギーは欠かせません。
化石燃料、核エネルギー、再生可能エネルギー。
地球温暖化と言われている今、エネルギーを見直すチャンスです。
「みどりの地球をみどりのままで子どもたちに残すために」
今、私たちに何ができるか一緒に考えましょう。

講師：小出 裕章 さん

日時：6月23日（金）10：30～12：30

会場：九州ビル 9F会議室
福岡市博多区博多駅前1-8-31
オンラインでもご参加いただけます。
定価：6か月～300円 4歳～200円
詳しくはチラシをご覧ください。

小出裕章さんプロフィール

東北大学工学部電子工学専攻卒業
1974年から京都大学工学部教授を務め、
2015年3月定年退職。退職後のテーマは
「原子力発電の廃止」。現在京都府在住
著書に、「放射能汚染の現状と未来」
（2014年出版）、「原子力と共存できるか」
（共著・カミガキ出版）など。

スケジュール

10：30～10：35 はじめの挨拶
10：35～11：55 講演
11：55～12：25 質疑応答
12：25～12：30 おわりの挨拶

オンライン&会場学習会

2023年5月1日
グリーンコープ生協ふくおか

地球で生きる私たちが、今できること

最近感じる異常気象や災害の頻発、食への不安、
気候変動の脅威は一体何？本当に地球温暖化？私たちが
「みどりの地球をみどりのままで子どもたちに残すために」
今、私たちに何ができるか一緒に考えましょう。

講師：丸山 茂徳 さん

日時：5月29日（月）10：30～12：30

会場：博多バスターミナル9F大会議室
福岡市博多区博多駅中央街2-1
オンラインでもご参加いただけます。
定価：6か月～300円 4歳～200円
詳しくはチラシをご覧ください。

丸山 茂徳さんプロフィール

東京工業大学名誉教授。1994年、ブルームテクト
ニクスを提唱した地質学者として一躍有名に。近年は、
生命と地球の起源そして、それらの共進化の研究を世
界的に牽引した。YouTubeで無料公開中の「全地球史
アドヴァンス」は、地球と生命の歴史を最新のCG技術で
再現して描いた短編映画で、地球と生命の未来のシナリ
が描かれており、視聴数170万回を超える人気動
画。映画の解説本「地球と生命の誕生と進化（清水書
院）」も発売中。

スケジュール

10：30～10：35 はじめの挨拶
10：35～11：45 講演
11：45～12：25 質疑応答
12：25～12：30 おわりの挨拶

オンライン
学習会

2023年2月27日
グリーンコープ生協ふくおか

「気候危機のリスクと社会の大転換」
～地球のために、今私たちができること～

異常気象や災害の頻発に地球の未来に不安を感じています。
直面している気候危機の原因は何でしょうか？本当に地球温暖
化しているのでしょうか？
地球温暖化の未来予測はどうなる？私たちができることは何？
「みどりの地球をみどりのままで子どもたちに残すために」
今、私たちに何ができるか一緒に考えませんか。

講師：江守 正多 さん

日時：3月20日（月）10：00～12：00

参加費：無料

江守 正多さんプロフィール

1970年神奈川県生まれ。
東京大学農学部卒業。同大学大学院文化科学研究科修士課程修了。博士
（学術）。
1997年より国立環境研究所に勤務。
気候変動研究センター副センター長、気候変動リスク評価研究部長等を歴
任。2021年より地球システム環境研究所、環境政策研究センター、環境政策
研究部長。
2021年より東京大学総合文化研究科に地球システム研究科教授。
2022年より地球システム環境研究所長に就任。
東京大学総合文化研究センター特別（グローバル）フェロー。
専門は気候変動、気候変動に際する政策決定、気候変動リスク評価、
気候変動政策。

スケジュール

10：00～10：05 はじめの挨拶
10：05～11：05 ビデオ講演
11：05～11：55 質疑応答
11：55～12：00 おわりの挨拶

オンライン
学習会

2023年1月30日
グリーンコープ生協ふくおか

～みんなが知れば、必ず変わる！～
私たちは、気候危機を阻止
できる最後の世代です

観測史上もっとも早い梅雨明け、記録的な猛暑、各地で起こる大雨、
厳しい暑さによる熱中症や、農作物への影響…
気候危機は私たちの生活を脅かしています。
「今、地球で何が起こっているのか？」「なぜ起こっているのか？」
「私たちに何ができるのか？」
地球のために、未来の子どもたちのために、まず知ることから始めましょう！

講師：谷口 たかひさ さん

日時：2月20日（月）
10：00～12：30

参加費：無料

谷口 たかひささんプロフィール

NHKを代表する気象予報士
1988年大阪生まれ
気象予報士として、時間とともに映像が通る
気象予報に取り組み、ドキュメンタリー番組に
出演。2013年ドイツで気候危機の深刻さを目の当
りに。気候危機の発信や講演を開始。
NHK 4年連続でスピーチを行う。

スケジュール

10：00～10：05 はじめの挨拶
10：05～11：05 ビデオ講演
11：05～11：55 質疑応答
11：55～12：00 おわりの挨拶

これまでにおこなった
カーボンニュートラル学習会



▲ 提案をする
坂本理事長

▲ たくさんの総代から様々な意見が出されました



▲ 配達にEVトラックを導入しています（福岡西支部）



▲ 株式会社鳥越ネットワーク
鳥越 耕輔さん



▲ 百姓倶楽部八女の郷
松尾 高生さん

産直青果の生産者から近年の気候変動について
お話を聞きました



▼ 一社）共同購入ワーカーズ連合ふくおか
河村 紀子さん

配達を担当する立場から
EVトラックのメリットなどを
説明されました

議案と採決結果

（ 総代定数389名
有効票数380票（委任状を含む出席97名 書面議決書283名） ）

議 案	採 決 結 果
第一号議案：みどりの地球をみどりのままで子どもたちに手渡せるようにグリーンコープはカーボンニュートラルに取り組みます。賛同する人が財源を出し合い、この運動に参加する人を増やしていきます。	賛成220により可決承認 保留95・反対65
第二号議案：議案決議効力発生の特	賛成320により可決承認 保留52・反対8

閉会あいさつ



中村中部地域理事長

私たちの
進む方向を決める時、
しっかり見渡して
耳を傾けていきたい

先週の臨時総代会に引き続き、今週も朝早くから分厚い議案書に目を通し、真剣な姿勢で皆さんご参加いただいたこと、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。そして長時間お疲れ様でした。

今日は22年度の組合員活動報告、事業報告、決算、23年度の方針、予算など審議し、可決することができました。質疑応答の中では様々ご意見をいただきました。大きくなって、夢が叶って、運動が広まって、そんなグリーンコップを嬉しいと思うメンバーもいる反面、なんだか遠くなった、寂しいという声も本日の質疑応答の中で聞かれました。

運動や私たちの思いが広がることは本当に嬉しいことです。ただ、目の前にいるワーカーさんや、実は苦しくて胸の内を打ち明けられない職員さん、ワーカーさん、組合員、活動組合員、そんな人たちにもできるだけ耳を傾けて今後の活動を決める時、私たちの進む方向を決める時、しっかり見渡して耳を傾けていきたいと心から思いました。

前年からのカーボンニュートラルの検討は未熟なまま色々悩みました。何時間も何時間もかけて検討を繰り返し、最後は、「今日は結論が出たのかな、本当に今後どうしたいのか」、家でも悶々とする日が続きました。でも私たちは「同じ組合員の気持ちはどうなのだろう、どのように皆さん思っているだろう」、常に想像力を膨らませて皆で考え、知恵を合わせてやってきたつもりです。様々なご意見いただいております。

今日頂いたご意見はしっかり持ち帰って今後の検討に活かしていきたいと思えます。本当に今日はありがとうございました。

(中部地域理事長 中村 晶子)



議案と採決結果

総代定数389名 有効票数383票(委任状を含む出席80名 書面議決書303名)

議 案	採決結果
第一号議案：2022年度 活動報告承認の件	賛成366により 可決承認 保留10・反対7
第二号議案：2022年度 決算報告承認の件	賛成360により 可決承認 保留22・反対1
第三号議案：2023年度 活動方針決定の件	賛成350により 可決承認 保留27・反対6
第四号議案：2023年度 予算決定の件	賛成343により 可決承認 保留35・反対5
第五号議案：常勤役員退職金支給の件	賛成368により 可決承認 保留15・反対0

議 案	採決結果
第六号議案：総代選挙規約改定の件	賛成372により 可決承認 保留11・反対0
第七号議案：総代会運営規約変更の件	賛成371により 可決承認 保留12・反対0
第八号議案：定款規約改定の件	賛成371により 可決承認 保留11・反対1
第九号議案：議案決議効力発生の件	賛成369により 可決承認 保留14・反対0
第十号議案：役員並びに選挙人改選の件	賛成347により 可決承認 保留28・反対8

※議長2名は採決の数に含まれていません。



議長を務められた
京 築 支 部 南方 利枝さん(左)
福岡なか支部 谷川真由美さん(右)



会場の様子

〈22年度決算と23年度予算〉

一、決算

- (1)2020年1月に新型コロナウイルスの国内感染が確認されてから3年を迎えた2022年は、感染者全員入院からの転換、国民の行動制限や経済活動の制限の見直しが行われました。一方、生協は組合員のみなさんへ継続した供給事業を行うために総力をあげて対応した1年でした。行政からコロナ感染者への生活支援物資事業を受託して、外出できない市民を支援する福岡支援センターを立ち上げ対応しました。福岡支援センターから供給した金額は2億9,031万円です。
- (2)このような状況のもと、私たちの生協の事業は、総供給高286億6,320万円で予算比98.4% (▲4億6,049万円) と予算を下回りましたが、前年比は100.1% (+2,181万円) となり前年を上回りました。
- (3)事業総剰余金は82億5,117万円 (予算比100.6%) となりました。事業経費合計は、78億8,239万円 (予算比99.4%)、予算を4,582万円下回りました。事業外収支等7,298万円を受け入れ、税引前剰余金は4億4,162万円の黒字となりました。昨年総代会で議決いただいた予算 (3億4,413万円) を9,748万円超過しました。
- (4)法人税等8,096万円の計上を行い、当期剰余金は3億5,604万円です。
- (5)当期首繰越剰余金1億34万円に当期剰余金3億5,604万円を計上し、4億5,638万円を当期末未処分剰余金とします。当期剰余金処分として、法定準備金を2億5,000万円とし、次期繰越剰余金2億638万円とします。

二、予算

- (1)供給高286億804万円、事業総剰余80億5,116万円を計画します。新型コロナウイルス感染が終息に向かっていく中、巣ごもり需要も落ち着いていくものと思われます。2023年度は昨年並みの供給高の確保を予算化します。
- (2)事業総剰余80億5,116万円 (前年比：97.6%、前年差：▲2億1万円) としました。部門別には、共同購入事業総剰余は+1,929万円の前年並みとし、店舗事業総剰余は▲2,684万円の前年を下回る予算を立てました。
- (3)税引前剰余2億958万円の収益を予算化します。前年から▲2億2,743万円の減収計画です。

〈単位：千円〉				〈単位：千円〉	
	'22年実績	予算比	予算差	'23年予算	前年比
供給高	28,663,204	98.4%	-460,494	28,608,036	99.8%
供給剰余	7,675,017	99.4%	-46,837	7,589,733	98.9%
受取手数料	429,856	130.3%	99,904	306,050	71.2%
共済手数料	146,298	98.1%	-2,848	146,301	100.0%
その他手数料	576,154	120.3%	97,056	0	
事業総剰余	8,251,170	100.6%	50,218	8,051,164	97.6%
人件費	1,774,455	101.3%	22,055	1,850,244	104.3%
物件費	6,113,012	99.0%	-62,796	6,065,216	99.2%
経費合計	7,887,467	99.5%	-40,741	7,915,460	100.4%
事業剰余	363,704	133.3%	90,960	135,704	37.3%
事業外収入	78,119	83.8%	-15,105	78,842	100.9%
事業外費用	4,965	22.7%	-16,871	4,970	100.1%
経常剰余	436,857	126.9%	92,726	209,576	48.0%
特別損益	148	0.0%	148	0	
税引前剰余	437,005	127.0%	92,874	209,576	48.0%
法人税等	80,961	0%	80,961		
税引後剰余	356,044	103.5%	11,913		